

正法山妙心寺は龍安寺の南、木辻の西にあり。開山は関山国師、信州の人なり。一とせ洛に來り、大燈国師によりて衣鉢閣に上り、一夕関山雲門の関の字を會得す、大燈また雲門大師來れると夢見て関山と号す。後醍醐帝の間に答奉り、しかも尊旨にかなふ。其後花園法皇禪苑をたて、関山を住職となし給ふ。則ち法皇も方丈の後に一院をいとなみ住せ給ふ、これを玉鳳院といふ。仏殿の本尊釈迦仏〔左迦葉、右阿難〕達磨、臨濟〔左右の脇壇〕神牌〔花園院、後花園院、後土御門院、後柏原院、後奈良院〕法堂は北にあり、経藏は東にあり。玉鳳院は正面に唐門あり、額は法皇の御宸筆なり。

妙心寺十境 和漢禪刹次第出

万歳山(仁和寺山)

百花洞(玉鳳院内)

高安灘

麒麟閣(玉鳳院内)

宇多川(妙心寺の東流)

斎宮杜(東外川端)

度香橋(南門前)

鷄足嶺(北山)

南華塔(東寺塔)

旧藉田(妙心寺の内花園)